

(限 内 部)

# 海軍公報

(部内限) 第四千六百九十六號

海軍大臣官房

昭和十九年五月二十三日(火)

## ○通牒

官房機密第三四二號

昭和十九年五月二十二日

海軍省 副官

關係各廳長殿

内令提要別冊(定員關係)ノ制定配付ニ  
關スル件中改正ノ件通牒

官房機密第七六號申進首題ノ件中「海軍施設本部」ノ  
下ニ「海軍電波本部」ヲ、「各防備隊」ノ下ニ「各  
潜水艦基地隊」ヲ加ヘラレ候

## ○辭令

○昭和十九年五月十日

情報局屬 中野 美松

任海軍屬兼海軍書記

給六級俸

(各通)

任海軍書記

給三級俸

任海軍書記

給四級俸

任海軍書記

給六級俸

任海軍書記

給月俸七拾圓

任海軍書記

給七級俸

(各通)

任海軍書記

給月俸六拾圓

小野寺喜代見  
赤間 勝雄

中村 武夫

重山 鶴一

山口 賢二

矢田 保

青田 農夫雄

鈴木 進

海軍公報(部内限) 第四千六百九十六號 昭和十九年五月二十三日

七五五

1989

任海軍書記 給八級俸	長谷川 重光	任海軍書記 給八級俸	長谷川 重光
任海軍錄事 給六級俸	裁判所書記 川 尻 清	任海軍錄事 給六級俸	裁判所書記 川 尻 清
任海軍監獄看守長 給五級俸	海軍監獄看守 野口 尙武	任海軍監獄看守長 給五級俸	海軍監獄看守 野口 尙武
(各通)	古池 繁好 橋本長之助 松江 春義 川本 愛藏 岩崎 仙太郎	(各通)	古池 繁好 橋本長之助 松江 春義 川本 愛藏 岩崎 仙太郎
任海軍技手 給三級俸	東京都技手 石原 武夫	任海軍技手 給三級俸	東京都技手 石原 武夫
(各通)	吉田 清美 福地 嘉次郎 西岡 由春 稻岡 久夫	(各通)	吉田 清美 福地 嘉次郎 西岡 由春 稻岡 久夫
任海軍技手 給六級俸	任海軍技手 給六級俸	任海軍技手 給六級俸	任海軍技手 給六級俸
(各通)	入杉 源次郎 岡本 真一 横山 忠 松岡 久生 岸本 隆夫 北條 定 石崎 美代夫 難波 朝男	(各通)	入杉 源次郎 岡本 真一 横山 忠 松岡 久生 岸本 隆夫 北條 定 石崎 美代夫 難波 朝男
氣象技手	氣象技手	氣象技手	氣象技手
坂井 繁夫 松本 繁夫 廣庭 忠 小田 弘志 筒井 庄爾 熊谷 秀雄 佐野 護	坂井 繁夫 松本 繁夫 廣庭 忠 小田 弘志 筒井 庄爾 熊谷 秀雄 佐野 護	坂井 繁夫 松本 繁夫 廣庭 忠 小田 弘志 筒井 庄爾 熊谷 秀雄 佐野 護	坂井 繁夫 松本 繁夫 廣庭 忠 小田 弘志 筒井 庄爾 熊谷 秀雄 佐野 護

1930



海軍艦政本部附ヲ命ス	海軍技手	吉田 清美
(各通)	同	福地 嘉次郎
佐世保海軍施設部勤務ヲ命ス	同	西岡 由春
第百一海軍工作部附ヲ命ス	同	稻岡 久夫
吳海軍施設部勤務ヲ命ス	同	石原 武夫
第十一海軍航空廠附ヲ命ス	同	坂井 明
第四海軍工作部附ヲ命ス	同	松本 繁夫
高雄海軍施設部勤務ヲ命ス	同	廣庭 忠
海南海軍工作部附ヲ命ス	同	小田 弘志
吳海軍工廠勤務ヲ命ス	同	筒井 庄爾
第三海軍燃料廠附ヲ命ス	同	熊谷 秀雄
第二氣象隊附ヲ命ス	同	佐野 護
佐世保海軍施設部勤務ヲ命ス	同	入杉 源次郎
第十一海軍航空廠附ヲ命ス	同	岡本 真一
(各通)	同	横山 忠
佐世保海軍施設部勤務ヲ命ス	同	松岡 久生
吳海軍工廠勤務ヲ命ス	同	岸本 隆夫
(各通)	同	北條 定
第十一海軍航空廠附ヲ命ス	同	石崎 美代夫
(各通)	同	難波 朝男
第二十五海軍建設部附ヲ命ス	同	塩川 敏昂
第二十四海軍建設部附ヲ命ス(以上 <sup>10</sup> 海軍省)	同	田村 久男
		伊東 幸一

1992

吳海軍經理部  
員海軍主計大尉 太田 俊輔  
吳海軍經理部別府支部艦隊經費分任出納官吏ヲ命ス  
海軍主計大尉 依田 實  
帝洋丸ニ要スル給與及其ノ他ノ經費支拂ノ爲艦隊經費分任出納官吏ヲ命ス(以上五明支出官 海軍省經理局長)

海軍主計大尉 若林 照  
第四海軍施設部ニ要スル給與及其ノ他ノ經費支拂ノ爲艦隊給費分任出納官吏ヲ命ス

同 佐藤 政行  
右同分任出納官吏ヲ免ス

同 大原 徹夫  
驅逐艦清霜ニ要スル給與及其ノ他ノ經費支拂ノ爲艦隊經費臨時分任出納官吏ヲ命ス

海軍主計中尉 入江 貞夫  
第九〇一海軍航空隊派遣隊ニ要スル給與及其ノ他ノ經費支拂ノ爲艦隊經費臨時分任出納官吏ヲ命ス(以上五月同)

○ 雜 款

○ 赴任轉勤旅費ノ件

本分校ヘノ轉勤者ハ柳井驛下車同驛ヨリ分校マデ陸路十杆ナリ(乗合自動車ノ便アリ)最近轉勤者ニ對シ柳井驛マデ前金拂ヲナス尙尠カラザル處今後前金拂ヲナス際ハ柳井田名間車馬賃ヲ算入ノコトニ取計相成度追テ柳井驛ノ隣接ニ柳井港驛アリ往々ニシテ柳井驛ト誤解シ下車セル例尠カラズ特ニ留意相成度爲念  
山口縣熊毛郡佐賀村字田名  
(海軍潜水學校分校)

○ 開隊

名古屋海軍航空隊岡崎分遣隊ハ五月十五日愛知縣碧海郡矢作町大字北野ニ開隊セリ

○ 轉勤者旅行順路

省線岡崎驛下車一名鐵岡崎線明大寺驛下車東岡崎驛ニテ名鐵豐橋線乗換一同線宇頭驛下車(約四、一杆徒歩四十五分)  
(名古屋海軍航空隊岡崎分遣隊)

○ 事務開始

伊號第三百六十三潜水艦艇裝具事務所ハ五月十五日吳海軍工廠内ニ於テ事務ヲ開始セリ  
(電話番號准士官以上事務室吳工廠 三〇〇八番)

第三〇一設營隊ハ五月十五日神奈川縣藤澤市横須賀海

軍施設部設營班桑原部隊内ニ於テ事務ヲ開始セリ

○梅艦裝員事務所ハ五月十六日大阪市住吉區柴谷四四藤永田造船所内ニ於テ事務ヲ開始セリ  
(電話藤永田造船所 二六五番)

○事務所撤去

名古屋海軍航空隊岡崎分遣隊(假稱) 設立準備事務所ハ五月十五日之ヲ撤去セリ

追テ分遣隊ヘノ轉勤者ハ直接左ニ依リ赴任セシメラレ度

名古屋方面ヨリノ場合

省線岡崎驛下車—名古屋鐵道岡崎線乘換明大寺驛下車—東岡崎驛ニテ名古屋鐵道豐橋線乘換—同線矢作橋下車(約四、八分 徒歩五十分)

東京横須賀方面ヨリノ場合

東海道線豐橋驛下車—名古屋鐵道豐橋線ニ乘換—同線矢作橋驛下車(約四、八分 徒歩五十分)  
(名古屋海軍航空隊岡崎分遣隊)

第二一五設營隊事務所ハ五月十七日之ヲ撤去セリ

○訂正

三月十八日海軍公報(部内限) 第四千六百四十號辭令欄中海軍主計大尉唐崎匡一、同宮澤鐵藏ノ辭令月日、二月十五日トアルヲ二月二十四日ニ訂正ス

○取消

三月二十五日附海軍公報(部内限) 辭令欄四〇七頁上段十九行目「中村 進」ノ、五月八日同辭令欄六七五頁上段四行目趣前正作ノ、五月十五日同號外六頁十三行目及十五頁五行目與嶋 實ノ辭令文ハ孰モ取消

○正誤

三月三十一日附海軍公報(部内限) 號外十頁三段目菊池龍文ハ菊地龍文ノ誤ニ付訂正

○本日暗送公報第十八號發行ス

(限 内 部)

海軍公報(部内限)第四千六百九十七號

海軍大臣官房

昭和十九年五月二十四日(水)

○令 達

官房經機密第六七一號  
艦船部隊殘務整理班ニ於ケル會計殘務整理規程中左ノ  
通改正ス

昭和十九年五月二十二日

海軍大臣

第二條中「海軍計算證明等戰時特例第六條」ヲ「戰時  
海軍計算證明規程第十三條」ニ改ム

官房需第一四〇號

昭和十八年官房需第二五七號第三中「昭和十六年官房  
機密第九三二六號中」ヲ「海軍給與令施行細則中」ニ  
改ム

昭和十九年五月二十三日

海軍大臣

(参照) 昭和十八年官房需第二五七號ハ臨時特例ニ依リ採用セラレ  
タル豫備生徒ノ被服定數等ノ件(機密會計法規八九頁)

官房需第一四一號

當分ノ間海軍給與令施行細則中被服物品ノ交付、貸與  
其ノ他ノ特例ニ關シ左ノ通定ム

昭和十九年五月二十三日

海軍大臣

一 交付又ハ貸與ノ特例

(イ) 第七表ノ二及第八表ノ規定ニ依リ軍樂兵曹及軍  
樂兵ニ交付スル禮衣袴、前立及カフスハ之ヲ交付  
セズ

(ロ) 第八表ノ規定ニ依リ新兵ニ入團(隊)時交付ス  
ル半靴二組ノ中一組ハ新兵教育期間終了迄之ヲ交  
付セズ

(ハ) 第八表ノ三ノ規定ニ依リ生徒ニ交付スル禮衣袴  
ハ之ヲ交付セズ

(ニ) 第十四表ノ規定ニ依リ下士官及兵其ノ他ニ貸與  
スルモノノ中

(一) 禮服用臂章ハ之ヲ貸與セズ  
(二) 防暑被服ノ中防暑服乙ハ之ヲ貸與セズ

海軍公報(部内限)第四千六百九十七號

昭和十九年五月二十四日

七六一

1995

- (ホ) 第十五表ノ規定ニ依リ患者ニ貸與スルモノノ中  
綿入長白衣、帽及足袋ハ之ヲ貸與セズ
- (ヘ) 第十六表ノ規定ニ依リ在監人ニ貸與スルモノノ  
中綿入長白衣ハ之ヲ貸與セズ

二 交換期限ノ特例

- 第十一表ノ規定ニ依ル交換期限ノ中
  - (イ) 交換期限アル被服物品ニシテ事變地ニ在ル下士  
官及兵ニ交付ノモノハ交換期限經過後ト雖モ尙使  
用ニ堪ユルモノハ之ヲ無期トス
  - (ロ) 事變地外ニ在ル下士官及兵ニシテ防暑服ノ貸與  
ヲ受クルモノノ夏襦袢ノ交換期限ハイ項ニ準ズ
  - (ハ) 服役延期ノ期間ヲ定メラズシテ服役ヲ延期セ  
ラレタル下士官及兵ノ被服物品ハ第十一表備考第  
五號ノ規定ニ拘ラズ交付交換スルモノトス
  - (ニ) 半靴ノ交換期限ハ海上ニ勤務スル者以外ノモノ  
ニ在リテモ交換期限經過後之ヲ無期トス

三 品質、製式ノ特例

- 第十七表ニ規定ノ品質、製式ノ中
  - (イ) 軍衣、軍袴、夏袴及外套ノ腰廻リ裏及裏ニハ生  
厚木綿ニ代ヘ他ノ布ヲ使用スルコトヲ得
  - (ロ) 軍樂兵曹及軍樂兵ニ交付スル軍衣及軍袴ノ表地

- (ハ) 二號羅紗ハ之ヲ厚セルジトス
- (ニ) 生徒ニ交付スル軍衣及軍袴ノ表地ハ紺サージ製  
一種トス
- (ニ) 生徒、豫備學生及豫備生徒ニ交付スル夏襦袢及  
夏袴下ノ地質ハ晒薄綾木綿製一種トス

附則

昭和十五年官房第五六四九號、昭和十六年官房第一九  
一八號、官房機密第九三二六號、昭和十七年官房第七  
五六七號及昭和十八年官房第二〇四號ハ之ヲ廢止ス

(參照)

昭和十五年官房第五六四九號ハ被服交換期限特例ノ件(會  
計法規三卷八〇八ノ二九頁)  
昭和十六年官房第一九一八號ハ軍樂科下士官兵ニ禮衣袴、  
前立、禮服用臂章等ヲ交付又ハ貸與セザル件(衣糧例規四  
一二頁)  
同 年官房機密第九三二六號ハ生徒、豫備學生ノ被服定數  
等ノ件(機密會計法規八五頁)  
昭和十七年官房第七五七號ハ生徒ニ禮衣袴ヲ交付停止ノ  
件(昭和十七年十二月十六日海軍公報(部内限))  
昭和十八年官房第二〇四號ハ新兵ニ教育終了時迄半靴一  
組ヲ交付セザル件(會計法規二卷二五二ノ二頁)

官房機密第一七八號  
海軍軍需部長ハ大東亞戰爭中主計長主管艦營需品備品  
食器碗ヲ艦船部隊ノ下士官及兵ニ供給スルコトヲ得

1996

之ガ整理手續ニ關シテハ海軍省軍需局長ヲシテ通牒セ  
シム

昭和十九年五月二十三日

海軍大臣

官房需機密第一八〇號

昭和十八年官房需機密第三〇九號中左ノ通改正ス

昭和十九年五月二十三日

海軍大臣

別表中雨衣ノ項ヲ左ノ如ク改ム

略 衣 袴	一	一	一	一
略 帽	一	一	一	一
雨 衣	一	一	一	一
夏 袴 下	一	一	一	一
帶 皮	一	一	一	一
靴 下	六	六	六	六

同表中夏袴下、帶皮及靴下ノ各項ヲ夫々左ノ如ク改ム

同表中臂章ノ項ノ次ニ左ノ二項ヲ加フ

手 拭	二	二	二	二
褲	三	三	三	三

附則

帶皮、褲及手拭ノ定數ハ其ノ交付ヲ受ケタル者ニ付適  
用ス

(參照) 昭和十八年官房需機密第三〇九號ハ出征艦部隊ノ下士官  
及兵ノ被服物品定數、還納等ノ件(機密會計法規一三〇ノ  
四七頁)

○通牒

官房備第八七號

昭和十九年五月二十三日

海軍次官事務取扱

關係各廳長殿

不用暗幕ノ撤去等ニ關スル件通牒

纖維資源逼迫ノ折柄各廳備付暗幕(通常物品)ノ中分  
散格納倉庫其ノ他夜間ハ殆ンド使用ノ見込ナキ建物等  
ニ備付アルモノハ速ニ撤去ノ上之ヲ下士官及兵用被服  
材料ニ活用セシムルコトトシ左記ニ保管轉換ノ手續ヲ

海軍公報(部内限)第四千六百九十七號

昭和十九年五月二十四日

七六三

1997

爲スト共ニ現品送付相成度  
尙自今暗幕ハ夜間使用見込ナキ建物ニハ之ヲ備付ケザ  
ルコトニセラレ度

記

東京都品川區大井南濱川町埋立地

第一海軍衣糧廠 通常物品會計官吏宛

軍需二機密第五三〇號

昭和十九年五月二十二日

海軍省軍務局長  
海軍省軍需局長

關係各廳長殿

二號重油供給ニ關スル件申進

昭和十七年軍需機密燃第三七〇號ヲ以テ艦船主機械用  
ニハ新二號重油ヲ供給スルコト、相成居候處燃料ノ需  
給極度ニ逼迫セル現狀ニ鑑ミ自今二號重油ヲモ供給シ  
得ルコトニ定メラレ候

海人三機密第二號ノ一六

昭和十九年五月二十三日

海軍省人事局長  
海軍省教育局長

關係各廳長殿

充員召集中ノ補充兵及國民兵ニ對スル人  
事取扱等ニ關スル件中改正ノ件申進

首題ノ件中左記ノ通改正セラレ候

追テ昭和十七年海人第一號ノ三四二ハ自然消滅ノ義  
ト了知相成度

記

第四號中「特ニ教育實施ニ關シ所見アル向ハ之ヲ所屬  
長官ニ提出スルト共ニ各一通ヲ本人在籍ノ鎮守府司令  
長官、海軍省教育局長及海軍省人事局長ニ送付スルモ  
ノトス」ヲ「教育實施又ハ人事取扱ニ關シ格別ノ所見  
(修業成績表ノ添付ヲ要セズ)アル場合ニ限リ所屬長  
官及本人在籍ノ鎮守府司令長官ニ之ヲ提出又ハ送付ス  
ルモノトス」ニ改ム

第八號(イ)中「當分ノ間調製セズ」ヲ「下士官、特修兵  
又ハ特技兵ト爲リタル者ハ其ノ際當該所轄長之ヲ調製  
シ其ノ他ノ者ニ在リテハ調製ヲ要セズ」ニ改ム

(參照) 内令提要卷二、五〇頁

諸例則卷三、二六八ノ三頁

軍需機密第三一〇號

昭和十九年五月二十日

海軍省軍需局長

關係各廳長殿

艦管需品還納ニ關スル件申進

首題ニ關シ從來屢々申進致置タル處戰局ノ進展ニ伴ヒ各種需品ノ需要量莫大ナルニ反シ資材竝ニ生産能力ノ關係上之ガ調達愈々困難トナリ今後ノ補給ニ支障ヲ招來スベキ現狀ニ鑑ミ昭和十八年軍需機密需第五七七號ニ依ル供給停止品中左記品名及其ノ他差當リ使用セザル需品ハ總テ之ヲ速ニ戦力増強ニ活用致度ニ付至急最寄海軍軍需部ニ還納ノコトニ取計相成度

記

一 内務長主管運用之部

刮削器、索締螺旋大、小、製索器、製索器臺、グリース鎌、鳩目打器、甲板洗桶甲、塗具鎌大、小、塗具白、四爪錨咄、爪竿乙、梯子、靴洗器、草取、刈込鋏、下地形、數字形甲、乙、文字形、截鎌、鋸、熔鍋、注  
入唧筒、鋤簾、如露、手燭、風通、防水蓆覆、釣床括帶、食卓覆、煙草盆敷物、四爪錨用鎖、鐵帶複滑車  
發ノ長、同、同、同、時鐘大、中、小、(艦船  
二三〇耗、二五〇耗、二七〇耗、三〇〇耗  
ノミ)振鈴、特種厚布蛇管大、中、筒先大、中、小、特小

漉器 大、中、小、蛇管接手 大、中、小、特小、螺廻、唧子  
大、小、曲軸軸大、小、電動酸素充填唧筒、鐵鎌

一 内務長主管金工之部

銅工金敷甲、鉸鏈甲、乙、銅工鏈乙、丙、平面盤大、割指乙、摺掛小、穴拉、椀型、角口箸大、曲箸、螺切型計器用、管切斷器大、小

一 内務長主管木工之部

組子締、浚隙鎌、鐵乾爐台、釘拔大、豎挽鋸大、鉋乙  
航海長主管  
信號旗掛覆、前垂、軍艦旗一巾半、八巾十巾、外國軍艦旗六巾

一 砲術長主管

水力機漏斗、グリセリン樹、電池用漏斗大、手提電燈甲、水平桿甲

一 機關長主管

油差丙、漏斗中、油受皿、磨輿、鐵手桶大、小、乾爐、銅鏈一庭、三庭、扛重機甲、摺合盤、剝子、刮刀、鎗形、油「タンク」、石炭袋、補機械覆、石炭入甲、乙、火棒甲、乙、火挾甲、乙、煖爐用十能甲、煖爐甲、圓火鉢、石炭櫛乙、油運搬罐

一 主計長主管

1999

花瓶(金屬製)、机掛乙(將官公室及所轄長公室儀禮用ヲ除ク)、腰掛蒲團履(將官公室用ヲ除ク)、椅子

覆甲(將官公室用ヲ除ク)、同乙(將官公室用ヲ除ク)匙小(金屬製ノミ以下此ノ種ノモノ同斷)、ナイフ小

フオーク小、菓子果物鉢、バタナイフ、紅茶コーヒ一瓶小、砂糖壺小、砂糖挾、牛乳壺大、小、塩匙、セルビエツト、セルビエツト輪、アイスクリーム匙、配食皿、桿秤三〇〇匙、六匙、二匙、台秤五〇匙、五〇〇匙、

一〇〇〇匙、提鞆小、法令全書、果物ナイフ、果物フオーク、魚ナイフ、魚フオーク大、小、魚取分、牡蠣フオーク、肉取分、肉フオーク、サラダ匙、サラダフオーク、野菜匙、ソース匙、胡桃割

備考  
一 本品名中ト雖モ代用品竝ニ類似品トシテ供給ノモノハ還納スルニ及ハス

二 先任旗一巾、四巾、長旗2.5米<sup>2</sup>米<sup>2</sup>米、艦首旗三巾、當直旗三巾、軍用船旗四巾、赤十字旗一巾、四巾ハ古旗布トシテ整理ノ上使用差支ナシ

軍需機密第三二四號

昭和十九年五月二十三日

海軍省軍需局長

關係各廳長殿

艦營需品食器碗ヲ携行物件ニ指定供給ノ件通牒

官房需機密第一七八號ヲ以テ訓令相成候首題物品ハ自今下士官及兵ノ携行物件ニ指定シ左記ニ依リ供給ノコトニ定メラレ候

記

一 取扱主任ハ食器碗大中小各一個ヲ下士官及兵ニ携行物件トシテ之ヲ供給シ被服物品交付表適宜ノ空欄ニ供給年月日ヲ記入シ其ノ數量ヲ拂出整理ノ上所管又ハ所屬ノ兵備品會計官吏ニ通報スルモノトス  
前項ニ依ル整理ニ關シテハ海軍給與令施行細則第七條ニ依ル交付證ノ書式ヲ準用ス  
兵備品會計官吏ハ前項ノ報告ニ依リ消耗拂整理スルモノトス

二 材質ハ「アルミニウム」又ハ珪瑯製トシ己ムヲ得ザレバ一時其ノ他ノ材質ノモノヲ以テ充ツルコトヲ得

三 各廳ニ於テハ豫備定數トシテ下士官及兵定員ノ一割ヲ限度トシ外地ニ在リテハ「アルミニウム」製又

ハ珪瑯製ノモノ、其ノ他ノ地ニ在リテハ陶磁器製、木製、箔製、「ペークライト」製、壓搾紙製等ノ代替品ヲ保有シ、其ノ他ノ不要額ハ速ニ最寄軍需部ニ還納ノコト

四 艦營需品支辨應以外ヘノ貸與、繰替供給等ノ場合ニハ「アルミニウム」製又ハ珪瑯製ヲ用ヒザルコト

五 艦營需品經理規程第十三條ノ規定ニ依ル手續ハ成ルベク速ニ完了ノコト

六 本供給手續ハ昭和十九年五月一日以後最初ノ所屬艦團部隊ニ於テ成ルベク速ニ完了スルモノトス

七 任用、進級又ハ召集解除等ニ依リ之ガ不用トナリタルトキハ取扱主任ハ現品ニ還納票ヲ添ヘ最寄海軍軍需部（特設海軍軍需部ヲ含ム）ニ還納スルモノトス

八 各艦船部隊取扱主任ハ毎年四月、七月、十月、一月ニ於ケル一日現在ヲ以テ供給數等ノ現狀ヲ記載シ成ルベク速ニ艦營需品經理規程第五條ノ規定ニ依ル兵備品會計官吏ニ通報スルモノトス

○ 辭 令

(各通)

兼榆林海軍運輸部附ヲ命ス(五十四海軍省)

同 海南海軍施設部附海軍技手 長谷川 照三  
同 佐々木藤左衛門  
同 植木 民次  
同 入江 寛志  
同 上田 三郎

(各通)

南東方面艦隊司令部附ヲ命ス(五十四海軍省)

同 第八海軍施設部附海軍技手 尾畑 保身  
同 第八海軍施設部附海軍技手 相良 幸七  
同 部附海軍技手 平岡 悟朗  
同 原田 源一郎  
同 下村 啓嗣  
同 陳 期 賜  
同 原田 勝平  
同 齋 弘 吉  
同 新崎 長吉

海軍中佐 淺野 以文  
久保 五郎

海軍運輸部事務ヲ囑託ス  
但シ報酬月額百五圓ヲ給シ部内限判任官待遇トス

海軍公報(部内限) 第四千六百九十七號

昭和十九年五月二十四日

七六七

海軍運輸本部事務囑託ヲ解キマニラ海軍運輸部事務ヲ囑託ス(報知如故)(以上三項海軍運輸本部)

囑託 久保 五郎

○ 雜 款

○陸運事務分擔ノ件  
當部及各支部(出張所)ノ陸運事務分擔左ノ通り定メ  
タリ

現住所	輸送事務	擔任區域
横須賀海軍運輸部	陸運全般	静岡縣、長野縣、山梨縣、神奈川縣、東京府、千葉縣、栃木縣、福島縣、群馬縣、埼玉縣、茨城縣、宮城縣、岩手縣、愛知縣、岐阜縣、三重縣
横濱支部	陸上小運送	横濱市一圓
四日支部	鐵道輸送ニ關スル各部ト	四日市一圓
霞ヶ浦出張所	ノ連絡(鐵道輸送計畫ヲ除ク)	土浦、荒川沖、鹿島方面
清水出張所		清水市一圓

(横須賀海軍運輸部)

○事務所移轉  
虎尾海軍航空隊(假稱)設立準備事務所ハ五月七日臺南州虎尾郡虎尾街ニ移轉セリ

○出張所移轉  
佐世保海軍軍需部鹿兒島出張所ハ五月十三日同市堀江町一〇番地(電話 二二二四)ニ移轉セリ

○失官